

## ワイヤレスブロードバンド実現のための周波数確保等に対する再意見

再意見提出者	(株) テレビ東京
意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望 (2015 年頃や 2020 年頃のワイヤレスブロードバンドのサービスイメージ、システムイメージなど)	
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題 (周波数の確保、国際標準化・研究開発の推進、利用環境の整備)	
(3) 関連する国内外の動向と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の意見に、アナログ放送終了後UHF帯チャンネルの更なる削減についての意見がある。放送事業者はアナログ終了後更にリパックを行った上、VHF帯域に加えて710MHzから上の60MHzに渡る帯域を新たなサービスのために提供を予定しているところ。チャンネルの配置計画については地域ごとの置局に関する技術検討を重ね、また隣接する地域との混信検討をクリアした上で必要最低限のチャンネルによるサービスを計画しているものであり、更なるチャンネル削減は極めて困難と考える。</li> <li>現時点で計画しているリパックについて視聴者への周知と対応には国と自治体と放送事業者が連携して細心の注意を払いつつ臨む予定。そこから先に更なるリパック作業を計画する考えは視聴者に無用な混乱を与え、視聴者保護の観点に反し現実的ではない。</li> <li>放送事業者はリパック完了以降についても、デジタル混信や新たな難視等の解消を目的とし新規デジタル中継局の置局を計画中である。52CH (710MHz) 以下の周波数帯域は今後更に逼迫する方向である。</li> </ul>
(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサ	

ービスやシステムに関する 事項	
--------------------	--